

平成 26 年度 神戸市水道事業主要施策

1 次期「神戸水道ビジョン」の策定（事業費：8 百万円）

（主要施策の概要（6 ページ）「4. 持続（1）③諸課題への対応」）

本市の人口が、平成 23 年度をピークとして減少傾向に転じたことなど水道事業を取り巻く環境の変化に対応するため、阪神・淡路大震災から 20 年を機とした災害対策の検証や水循環基本法の制定等水源環境等における新たな動きなども踏まえつつ、現行の「神戸水道ビジョン 2017」の計画期間（平成 20 年度～29 年度）を 2 年間前倒しし、次期「神戸水道ビジョン」について、平成 27 年度中の策定を目途に作業を進める。

2 漏水事故防止対策の拡充（事業費：2,524 百万円）

（主要施策の概要（5 ページ）2. 安定(1) ②漏水防止対策の推進、

(2) ③危機管理体制の強化、(3) ①配水管の更新・耐震化)

(1) 漏水調査の拡充

漏水を早期に発見し、事故を未然に防止するため、とくに漏水事故の発生が懸念される経年配水管の漏水調査を行う。平成 26 年度は、布設年次の新しい管を除いた全配水管の調査を実施する。（調査延長：約 3,500km）

(2) 経年配水管の更新

経年配水管の更新を継続的に進め、漏水事故の発生防止に努める。（延長：約 22.0km）

(3) 「神戸市水道局危機管理対策マニュアル」の拡充

大規模な漏水事故など、職員や資機材等が制限された条件下での対応について拡充を行う。



石屋川右岸の漏水事故
（平成 25 年 8 月）



漏水調査



経年配水管の更新

3 大容量送水管整備事業（事業費：267 百万円）

（主要施策の概要（5 ページ）「2. 安定(2)①大容量送水管の整備」）

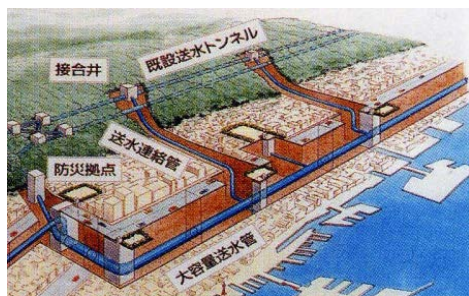
送水機能の強化を図るとともに、既設送水トンネルの被災・事故時や更生工事実施時のバックアップとしての機能を有し、また、災害等により送水が停止した場合には、管内に貯留される水を利用することで給水拠点での応急給水に対応する。

<全体事業>

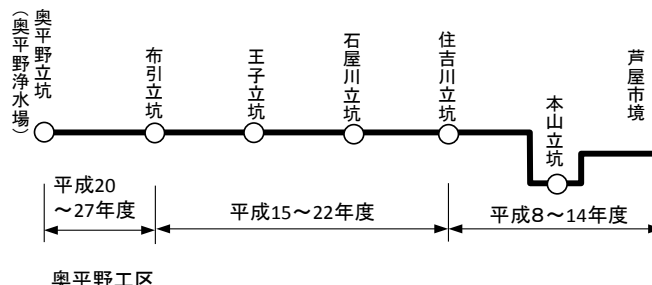
- 工 期：平成8年度～27年度
- 区 間：芦屋市境～奥平野浄水場
- 事業費：約370億円
- 口 径：2,400mm
- 延 長：12.8km

<平成26年度>

- 布引立坑～奥平野浄水場間（奥平野工区）において、シールドトンネル内に水道管を挿入する工事を行う。引き続き、奥平野立坑等の整備を進める。



イメージ図



ルート図

4 水・インフラ整備に関する国際貢献の新たな取り組み（上下水道事業）

（事業費：5百万円、うち水道3百万円、下水道2百万円）

（主要施策の概要（6 ページ）「6. 新たな展開(4)①水・インフラ整備に関する国際貢献の新たな取り組み」）

海外展開を志向する地元企業等からの支援要請等に基づき、一連の水循環システム・都市整備など、本市が蓄積してきたまちづくりの経験やノウハウ、震災の教訓を活かして、地元企業等の海外展開を積極的に支援していく。



平成26年度水道事業会計予算の概要

参考 1

(1) 業務量

区 分 項 目	平成26年度 当初予算	平成25年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
年間総給水量(百万m ³)	176.1	177.0	▲ 0.9	▲ 0.5
給水戸(箇所)数(千戸)	791.1	787.3	3.8	0.5

※伸び率はm³、戸単位で計算

(2) 財政規模(税込額)

(単位:億円)

区 分 項 目	平成26年度 当初予算	平成25年度 当初予算	対前年度予算	
			差 引	伸び率(%)
収 益 的 支 出	484.0 (358.4)	350.3	133.7 (8.1)	38.2 (2.3)
資 本 的 支 出	122.6 (122.6)	137.5	▲ 14.9 (▲ 14.9)	▲ 10.8 (▲ 10.8)
合 計	606.6 (481.0)	487.8	118.8 (▲ 6.8)	24.4 (▲ 1.4)

※ () は会計制度等変更の影響を除く。伸び率は千円単位で計算。

(3) 経営収支(税抜額)

(単位:億円)

区 分 項 目	平成26年度 当初予算	平成25年度 当初予算	対前年度予算		主な増減理由	
			差 引	伸び率(%)		
収 益	給 水 収 益	304.1	305.5	▲ 1.4	▲ 0.5	有収水量の減
	分 担 金	4.5	4.3	0.2	3.9	
	基金からの繰入金	2.5	2.5	-	-	
	受 取 利 息	1.2	1.5	▲ 0.3	▲ 19.4	平均利率の減
	一 般 会 計 繰 入 金 (阪 水)	0.6	0.8	▲ 0.2	▲ 23.9	阪水への繰出金の減
	長 期 前 受 金 戻 入 益	28.6	-	28.6	皆増	会計制度の変更による計上
	そ の 他 収 益	21.2	21.8	▲ 0.6	▲ 2.6	
合 計 (A)	362.7 (334.1)	336.4	26.3 (▲ 2.3)	7.8 (▲ 0.7)		
費 用	人 件 費	61.4	66.8	▲ 5.4	▲ 8.1	支給人員の減等
	受 水 費	112.7	112.7	-	-	
	物 件 費	58.5	52.1	6.4	12.1	動力費の増等
	減 価 償 却 費 等	95.3	92.5	2.8	3.0	会計制度の変更に伴う みなし償却制度廃止による増
	支 払 利 息 等	7.8	8.7	▲ 0.9	▲ 10.1	企業債残高及び平均利率の減
	繰 出 金	0.6	0.8	▲ 0.2	▲ 23.9	阪水への繰出金の減
	そ の 他 費 用	123.4	2.7	120.7	4,566.7	会計制度の変更に伴う 減損損失、退職給付引当金等 の計上による増
合 計 (B)	459.7 (334.0)	336.3	123.4 (▲ 2.3)	36.7 (▲ 0.7)		
当年度損益(A)-(B)=(C)	▲ 97.0 (0.1)	0.1	(▲ 97.1) (0.0)	-		
前年度末累積損益(D)	43.4	41.4	2.0	-		
当年度末累積損益(C)+(D)	534.1 (43.5)	41.5	492.6 (2.0)	-	26年度末累積損益には 利益剰余金振替額587.6億円 を含む	

※ () は会計制度等変更の影響を除く。伸び率は千円単位で計算。

(4) 資本的収支 (税込額)

(単位：億円)

項 目	区 分	平成26年度 当初予算	平成25年度 当初予算	対前年度予算	
				差 引	伸び率 (%)
収 入	企 業 債	-	-	-	-
	工 事 負 担 金	6.3	9.7	▲ 3.4	▲ 34.8
	国 庫 補 助 金	0.4	5.3	▲ 4.9	▲ 92.1
	施 設 増 強 負 担 金	2.2	2.8	▲ 0.6	▲ 23.5
	基金収入 (基金の運用益)	1.9	2.0	▲ 0.1	▲ 3.7
	基金からの繰入金	5.1	10.7	▲ 5.6	▲ 52.7
	一般会計繰入金	10.0	9.9	0.1	0.8
	そ の 他	1.4	2.2	▲ 0.8	▲ 35.4
	合 計 (A)	27.3 (27.3)	42.6	▲ 15.3 (▲ 15.3)	▲ 36.0 (▲ 36.0)
支 出	建 設 改 良 費	75.0	92.5	▲ 17.5	▲ 18.9
	基幹施設整備工事	15.4	27.9	▲ 12.5	▲ 45.0
	配水管整備増強工事	37.0	40.3	▲ 3.3	▲ 8.1
	開発団地施設工事等	22.6	24.3	▲ 1.7	▲ 6.8
	企業債償還金	20.7	21.1	▲ 0.4	▲ 1.9
	基金への積立	13.9	11.1	2.8	26.0
	繰 出 金	11.3	11.8	▲ 0.5	▲ 4.8
	そ の 他	1.7	1.0	0.7	66.7
合 計 (B)	122.6 (122.6)	137.5	▲ 14.9 (▲ 14.9)	▲ 10.8 (▲ 10.8)	
収支差引(A)-(B)		▲ 95.3 (▲ 95.3)	▲ 94.9	▲ 0.4 (▲ 0.4)	-

※ () は会計制度等変更の影響を除く。伸び率は千円単位で計算。

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額95.3億円は、損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

(5) 主要施策の概要 (税込額)

(単位：百万円)

事 項	予算額	収益的収支	資本的収支	説 明
1. 安心：安心しておいしく 飲める水をお届けします				
(1) 水源から蛇口までの水 質管理の充実	102	32	70	
		31	40	①水源水質の保全 及び浄水場の 水質管理
		1	30	②送・配水施設の水質管理
(2) 貯水槽水道および給水 装置の管理の充実	1	1	—	
		1	—	①受水槽の適正な管理の啓発の推進 及び直結給水の促進
2. 安定：いつでも安定して 使える水道を実現します				
(1) 水資源の確保	13,248	12,251	997	
		12,234	997	①複数水源の確保
		17	—	②漏水防止対策の推進 (漏水事故防止対策の拡充)
(2) 災害・事故時対応の 充実	308	5	303	
		—	267	①大容量送水管の整備
		4	29	②緊急貯留システムの整備
		1	7	③危機管理体制の強化 (漏水事故防止対策の拡充)
(3) 経年化対策と耐震化の 推進	5,698	17	5,681	
		15	3,510	①配水管の更新・耐震化 (漏水事故防止対策の拡充)
		2	2,171	②基幹施設の更新・耐震化
3. 満足度：お客さまの高い 満足度を得て信頼を確保し ます				
(1) 広聴活動の充実	4	4	—	
		4	—	①お客さま満足度調査等
(2) お客さまの利便性の 向上	197	197	—	
		197	—	①お客さまニーズに対応した 水道料金収納等
(3) 広報活動の充実	62	62	—	
		62	—	①きめ細かで効果的な広報の推進

(単位：百万円)

事 項	予算額	収益的収支	資本的収支	説 明
4. 持続：将来にわたって健全な経営を維持し、持続可能な水道事業を目指します				
(1) 節水型社会における持続可能な経営の確保	644	612	32	
		504	—	①事務事業の継続的見直しと経営改善
		97	22	②施設の管理運営の効率化と資産の有効活用
		11	10	③諸課題への対応 (次期「神戸水道ビジョン」の策定)
(2) 計画的な施設の整備と更新	1,012	2	1,010	
		2	1,010	①更新財源の確保
5. 環境：環境にやさしい水道を目指します				
(1) 水源環境の保全	42	—	42	
		—	42	①水源環境の保全のための取り組み
(2) 環境負荷の低減	2	2	—	
		2	—	①自然エネルギーなど地球温暖化防止対策の展開
(3) 循環型社会に向けた取り組み	4	4	—	
		4	—	①浄水汚泥等のリサイクルの促進
6. 新たな展開：広い視野と社会に貢献する視点を持って水道事業の新たな展開を目指します				
(1) 水の有効利用	4	4	—	
		4	—	①AQUAルネッサンス神戸
(2) 市民との協働、地域との連携	41	12	29	
		8	—	①環境面での取り組み
		4	29	②防災面での取り組み
(3) 社会貢献	1	1	—	
		1	—	①社会・環境等への優先的対応
(4) 国際的な視野を持つ水道へ向けた取り組み	3	3	—	
		3	—	①水・インフラ整備に関する国際貢献の新たな取り組み

平成26年度神戸市水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純損失	△ 9,694,418
	減価償却費	9,225,448
	減損損失	6,290,565
	貸倒引当金	171,204
	退職給付引当金	4,927,112
	特別修繕引当金	△ 170,400
	賞与引当金	395,690
	長期前受金戻入額	△ 2,858,818
	受取利息及び受取配当金	△ 119,060
	支払利息	784,332
	固定資産除却損	197,249
	基金繰入金	△ 250,000
	繰延勘定の償却	23,914
	未収金増減額	23,813
	未払金増減額	58,628
	消費税資本的収支調整額	454,163
	小計	9,459,422
	利息及び配当金の受取額	119,060
	利息の支払額	△ 784,332
	業務活動によるキャッシュ・フロー	8,794,150
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	固定資産の取得	△ 7,596,794
	国庫補助金	38,750
	一般会計補助金	7,945
	工事負担金	632,346
	雑収入	1,400
	基金造成費	△ 1,392,462
	基金運用収入	189,186
	基金からの繰入	756,307
	投資有価証券の購入	△ 3,700,000
	投資有価証券の満期	3,507,000
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,556,322
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てた企業債償還	△ 2,071,359
	施設増強負担金	214,811
	施設増強負担金返還金	△ 69,267
	貸付金返還金	3,519
	貸付金による支出	△ 3,519
	一般会計繰入金	996,688
	繰出金	△ 996,688
	財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,925,815
	資金減少額	△ 687,987
	資金期首残高	16,142,625
	資金期末残高	15,454,638